

# 環境時代の ビルディングエンベロップを 考えるシンポジウム



日時  
平成24年 **11月12日**月  
13:20～17:00 (開場13:00～)

場所  
東京大学本郷キャンパス  
武田先端知ビル

省エネ、CO<sub>2</sub>排出抑制や健康環境品質の向上を目指した建築物の高断熱化、長期優良住宅普及促進のための建築物の高耐久化など多くの課題が建物に求められており、それを構成する建材にも様々な性能が要求される時代となりました。

この度、環境工学の第一人者である建築研究所坂本雄三理事長をコーディネーターに、ビルディングエンベロップ（窓、断熱材、外装材等建物の外皮）を環境・材料・計画という総合的観点から各種研究成果の報告やパネルディスカッションを通じ、今後の住宅の目指すべき方向を提言頂くことを目的として、下記によりシンポジウムを開催致すこととなりました。

プ ロ グ ラ ム	13:20	<b>開会挨拶</b>
	13:25～13:35	<b>シンポジウム開催主旨説明</b> 坂本 雄三（独立行政法人建築研究所理事長）
	13:35～14:10	<b>【講演1】「健康と安全を支える住環境」</b> 講師：羽山 広文（北海道大学大学院工学研究院・工学部教授）
	14:10～14:45	<b>【講演2】「外装材のサステナビリティ」</b> 講師：野口 貴文（東京大学大学院工学系研究科建築学専攻准教授）
	14:45～15:20	<b>【講演3】「スマート化における住宅の基本性能の重要性」</b> 講師：栗原 潤一（株ミサワホーム総合研究所取締役）
	----- 休憩（15:20～15:30） -----	
15:30～16:55	<b>【パネルディスカッション】</b> <b>～環境時代のビルディングエンベロップについて～</b> [コーディネータ] 坂本雄三（独立行政法人建築研究所理事長） [パネラー] 羽山広文（北海道大学大学院工学研究院・工学部教授） 野口貴文（東京大学大学院工学系研究科建築学専攻准教授） 栗原潤一（株ミサワホーム総合研究所取締役） 神田雅子（アーキキャラバン建築設計事務所主宰）	
17:00	<b>閉 会</b>	

参加費 **無料** (定員：300名) ※裏面にて参加申込をお願い致します。

協賛：一般社団法人健康・省エネ住宅を推進する国民会議、社団法人住宅生産者団体連合会、一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会、一般社団法人日本サッシ協会、一般社団法人日本増改築産業協会、板硝子協会、関西サイディング工事協会、関東サイディング事業協同組合、樹脂サイディング普及促進委員会、断熱建材協議会、東京良質エコリフォームクラブ、プラスチックサッシ工業会（50音順）

後援：経済産業省、国土交通省、独立行政法人建築研究所、一般社団法人日本建築学会、公益社団法人日本建築士会連合会

主催：塩ビ工業・環境協会